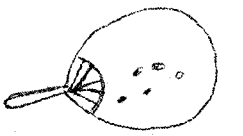
空中写真も主な地形の箇所を少し揃え生徒に見せましたが，皆興味をもったようです。しかしまだ不充分なので，自分で掛図やプリントを作ったり，これまであちこち歩いて撮ったスライドを大いに活用しています。

学校は横浜線中山駅からバスで15分位入ったところ，多摩丘陵の上にあり，教育環境としては最良です。先日の遠足では，心身の鍛錬と地理・生物の実地見学を目的に，中山から西谷浄水場まで往復17kmほど歩き，多摩丘陵・下末吉台地を見てきました。往復徒歩でしかもお菓子は持参禁止というので，生徒には大分きつかったようです。

今年の1年生が川和の伝統をつくっていく立場にあるので，先生も生徒も一生懸命で，学校としては，学習の面では非常に厳しく，同時に訓育の面でも相当きつくしています。

県立高校では，女の先生が大へん少く，私共の学校でも専任は私を入れて3名です。女生徒がいる以上女性でなければ適切な指導のできない面もあるわけですし，女性のよさを大いに発揮して敬遠どころか歓迎される女教師になるよう努力したいと思っております。どうぞ皆様，これからもよろしく御指導のほどお願い申上げます。

主婦歴七年



一瀬昌子

編集委員の方から突然お手紙と原稿用紙を郵送されて，なつかしい思にかられながら，家の中の忙しさに追われて，期限をとっくに見送り，とうとう「レポートが書けずに苦しんだ夢」をみました。

「主婦の立場でお茶大地理科を卒業した事（大学を卒業した事）と関連させて，何か書くように」と言うお話しですが，大学生らしく学問探究もせずに，だらだらと主婦業を続けて7年にもなると，原稿用紙に書いて，読んで頂く程のこともなくて，困って居ります。

久し振りに巡検アルバムを引張出し，勇ましくもバンカラな，我が姿に，冷汗を流しましたが，その同級生も，集まれば，我が子の教育が，話題になるような，年になって居ります。

衣食住を完璧にこなし，いつもやさしく，そして美しい主婦ではないかもしれませんが，皆健康で，家の中に，これといった波風もなく，何となく学生気分が抜けないところは，共通のようです。私の場合，大学の講義で習んだ事が，生のまゝ役に立つ事は，殆んどないように，今のところは，思まれますが，種々の先生や学生からうけた「ものの考え方」や「理解しようと努力するこゝろ」は，本当に，今になって，ありがたいと思って居ります。そ

れでも家の事に追われて居りますと，老化現象が早く，弾力のある考え方が出来なくなり，はっとさせられる事が，多くなって来ました。

この機会を拝借し，在学生の方々の中，時には，寮生活から離れたいとお思いの方がありましたら，遊びにおいで頂いて，たまには，若返ってみたいと，思って居ります。御希望があれば，よろしく。（当方幼児二人，平凡なサラリーマンの主婦．）　（第３回．３０年卒業）

思う……望む

前沢智恵子

一般的に女性が働く事に対して風当りが強い昨今の風潮です。社会的なムードとしても共稼ぎの妻は夫をつなぎとめ得ないとか，育児は母親が専念せねばろくな子にならないとか云う不安を働く女性に与えてゴーホームと呼びかけています．

どの職場でも女性を締め出そうとする傾向があるなど公務員の職場も決して例外ではない様です。これに対して私共の職種の様に永年勤続を期待して採用された女性が，結婚を理由に育児を理由に退かれるのが時折みられ，大変心残りに思う時があります。個人的には各々そうせざるを得ぬ事情があるのですが，それが結局は同性の本当に働きたい人，働かなければならない人の足をひき，より働き難い環境を与えることには，十分に注意していただきたいのです。仕事をもてば職場の一員としての責任があり，また社会の一員としての横のつながりを必然的に持つことになる。個人的な考え方なり，行動だけでは律しきれぬ面があるというごくあたりまえの事実の認識にどうも女性は弱いような気がします。でもこれははじめから肩いからせて考えなくとも働く仲間の間で自然に体得できるものではないかと思うのですが。家庭裁判所の仕事は女性の手が必要な点もあり比較的新しい職場でもあり且つ公務員として一応，生休産休が保障されている点でも他の職場に比して女性には働き易い働き甲斐のあるところのようにも考えられますが，反面仕事の量，内容には男性との差がほとんどなく且つ仕事に対する責任の大きさは就職前の想像以上であまりおすすめできません。年中疲労しているし劣等感にもなやまされますし，仕事の内容は精神衛生上最悪のものでもありますし……。でもこれらの事は，他の職業でも表れる形こそ違え同じ問題だと思いますし，一人では受けとめえぬ大きさでも，何人かで話し合い励ましあえば解決不可能とは思えないのです。在学中結核のため一年休学したこともあった私には（それが比較的健康診断のルーズな公務員試験を受けさせた最大の理由なのですが）まだ仕事についている私が不思議に思える時すらあるのです．結婚